



令和8年度ことしの仕事

美幌町予算説明書



「ことしの仕事」の発刊にあたって

町民の皆様には、日頃から美幌町のまちづくりに対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

令和5年5月、2期目の重責を担って以来、美幌町の「元気」と「活力」を最大限に引き出すため、全力で町政運営に取り組んでまいりました。来る令和8年度は、この任期中における集大成とも言える重要な予算編成となります。

令和8年度予算では、これまで以上に慎重な行財政運営を意識し、一般財源の5%削減を目標にマイナスシーリングを実施したうえで、重点課題への対応などを念頭におきながら予算編成を行った結果、一般会計は157億円と過去最大規模になったところであります。

本町においては、全国的な潮流と同様に、人口減少と少子高齢化は喫緊の課題であり、さらに物価高騰や人件費の上昇といった経済的要因が、財政運営に一層厳しさをもたらしめることが予想される場所ですが、町民皆さまの「笑顔」と「元気」こそが美幌町の最大の財産であり、未来を切り開く原動力であり、「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」というゆるぎない目標の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

このたび作成しました「ことしの仕事」をご覧いただき、町の1年間の予算や主な新規及び拡充する取り組み、町民の皆様からお預かりした税金などがどのように使われているかを知っていただき、「ふるさと美幌」に対する貴重なご意見をいただければ幸いです。

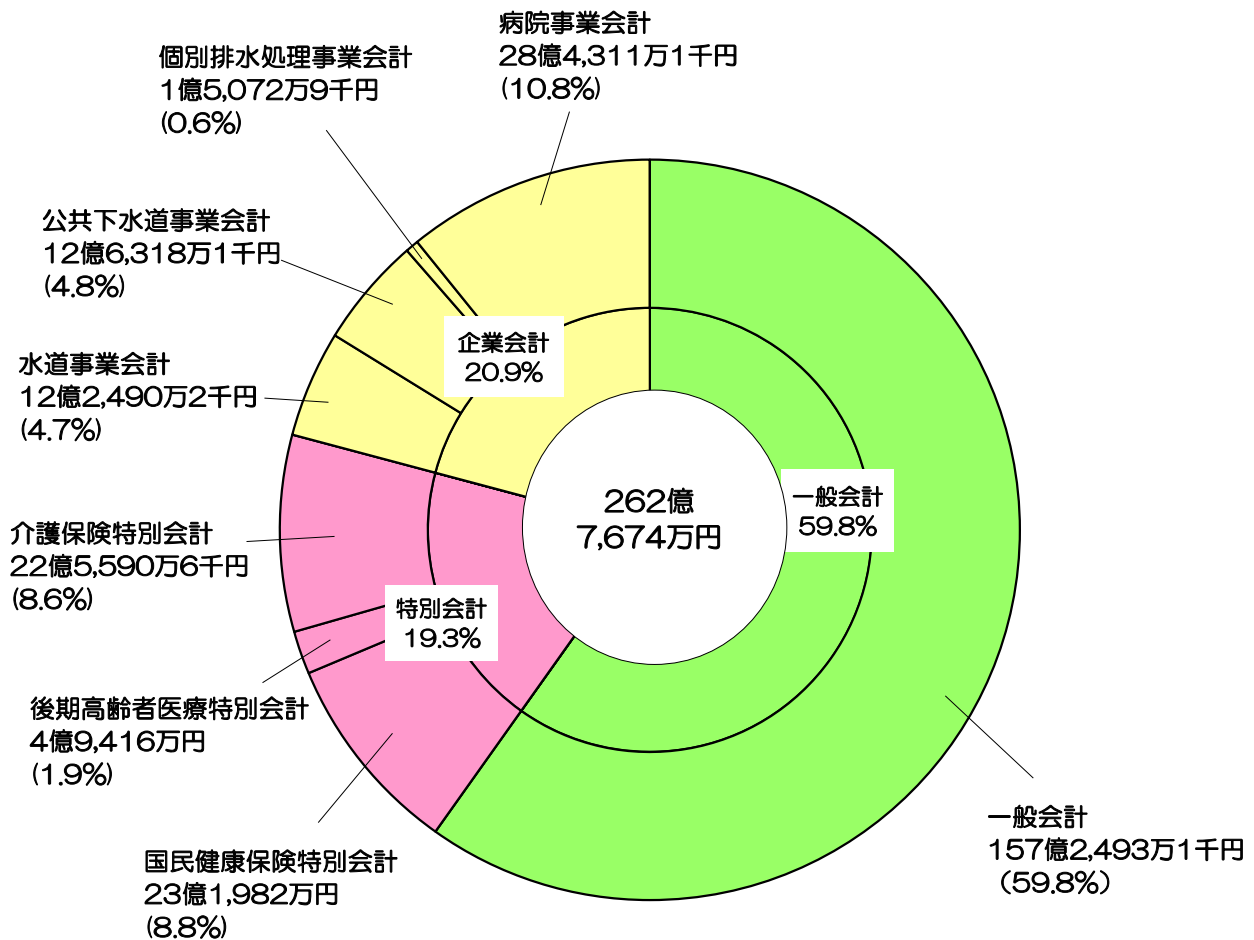
令和8年4月

美幌町長 平野 浩司

目次

令和8年度まちの予算	-----	1
一般会計の収入内訳	-----	2
一般会計の支出内訳	-----	3
まちの将来像と基本目標	-----	4
令和8年度の主な新規・拡充事業	-----	5
予算の基礎知識	-----	12

令和8年度まちの予算



一般会計

- ・福祉、道路整備、教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

- ・特定の事業を行うための会計で、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計があります。

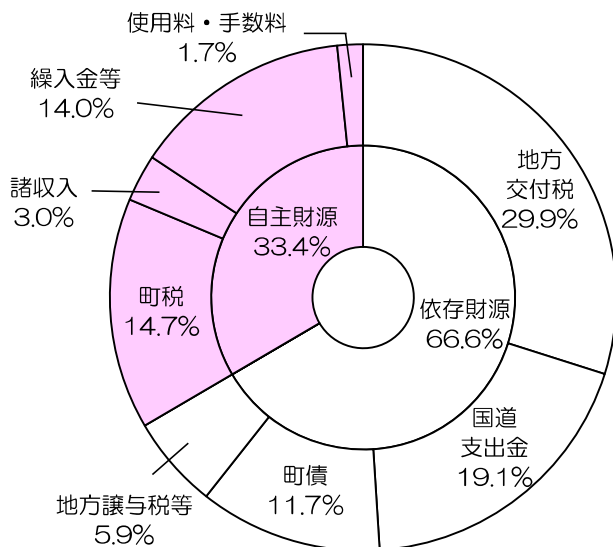
企業会計

- ・会社と同じように事業を行い収益をあげて運営する会計で、水道事業、公共下水道事業、個別排水処理事業、病院事業の4つの企業会計があります。

今年度は、一般財源の5%削減を目標にマイナスシーリングを実施したうえで、重点課題への対応などを念頭に置きながら予算編成を行った結果、一般会計は157億円と過去最大の予算規模となりました。

一般会計の収入内訳

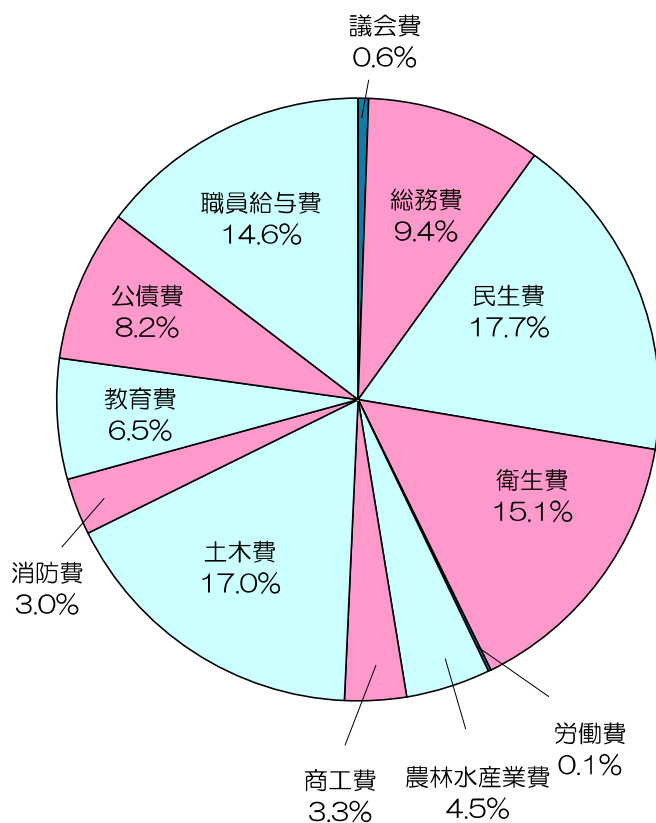
項目	説明	金額	
自主財源	町が自主的に調達（用意）できる収入のことです。	52億5,653万3千円	
町税	町民税や固定資産税など、皆さまに納めていただく税金です。	23億1,825万円	
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を、利用者が負担するお金です。	6,774万円	
使用料及び手数料	施設の使用料や証明書の発行手数料などです。	2億5,925万4千円	
財産収入	不要物品や土地などの財産を売り払って得るお金です。	6,611万4千円	
寄附金	町にご寄附いただいたお金です。	6億6,000万8千円	
繰入金	町の基金（貯金）から取り崩されたお金です。	14億168万1千円	
繰越金	前年度から繰り越したお金です。	1,000万円	
諸収入	給食費や貸付金の返還金、その他の様々なお金です。	4億7,348万6千円	
依存財源	国や北海道から交付されたり、借金をするなどして得られる収入のことです。	104億6,839万8千円	
地方譲与税	皆さまが国や北海道に納めたお金の一部が、法律や一定のルールに基づき、町に配分されるお金です。	1億9,788万2千円	
利子割交付金		268万4千円	
配当割交付金		1,619万円	
株式等譲渡所得割交付金		3,083万7千円	
法人事業税交付金		3,714万6千円	
地方消費税交付金		6億1,020万4千円	
環境性能割交付金		139万5千円	
国有提供施設等所在市町村助成交付金		30万円	
地方特例交付金		3,552万9千円	
地方交付税		47億円	
交通安全対策特別交付金		178万2千円	
国庫支出金		法律や一定のルールに基づき、町の特定の事業のために配分されるお金です。	21億1,179万円
道支出金		8億8,615万9千円	
町債		国や銀行から借り入れるお金（借金）です。	18億3,650万円
計		157億2,493万1千円	



収入全体では、地方交付税、国や北海道から交付される依存財源が全体の66.6%を占めており、町の予算は国の予算の影響を受けやすいといえます。安定的な財政運営のため自主財源（町税やふるさと寄附金など）の確保が重要な課題となっています。

一般会計の支出内訳

項目	説明	金額
議会費	議会運営の経費です。	8,827万8千円
総務費	全般的な管理事務、庁舎管理、戸籍や選挙などの経費です。	14億7,854万3千円
民生費	社会福祉や児童福祉などの経費です。	27億8,127万3千円
衛生費	健康づくりやごみ収集などの経費です。	23億7,153万7千円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援の経費です。	2,336万4千円
農林水産業費	農業や林業の振興などの経費です。	7億1,313万6千円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	5億2,014万円
土木費	道路や公園、公営住宅の整備などの経費です。	26億6,781万5千円
消防費	消防や救急などの経費です。	4億8,014万2千円
教育費	学校教育や社会教育などの経費です。	10億1,486万1千円
公債費	町が借り入れたお金（借金）の返済金です。	12億8,551万1千円
職員給与費	職員の給料や手当などです。	22億9,933万1千円
予備費	災害など緊急時のために用意しているお金です。	100万円
計		157億2,493万1千円



少子高齢社会の進展に伴う社会保障関連経費の増により、依然として、民生費の割合が大きくなっています。また、公営住宅整備事業等により土木費が伸びているほか、第IV期埋立処分場造成事業に要する経費等により衛生費も伸びており、これら3つで全体の約5割を占めています。

第6期美幌町総合計画で、美幌町の将来像を「ひとがつながる、みらいへつなげるここにしかないまち びほろ」と定めており、その実現に向けて取り組んでいくための5つの基本目標があります。

5つの基本目標

基本目標1 人を**創**り、地域力を高めるまちづくり

基本目標2 自然の美しさやくらしの安心を、
みんなで**護**りあうまちづくり

基本目標3 まちの資源や持ち味を、
活かに換えていくまちづくり

基本目標4 住みやすく、
人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

基本目標5 夢を**育**む体験！
あたたかい人をつくるまちづくり

創

基本目標1 人を創り、 地域力を高めるまちづくり

拡充

ふるさと寄附金のさらなる増収と

継続

寄附者の拡大を目指します

本町の令和7年度寄附総額は約4億8千万円となる見通しであり、令和8年度は寄附総額の目標を6億6千万円と設定しました。民間事業者と連携し、SNSや広告等による情報発信や返礼品の更なる充実、供給体制の確立を図り、リピーターを踏まえた寄附者確保に取り組み、これまで以上に寄附金額の向上を目指していきます。

【予算】 3億2,684万円

- ・募集受付業務委託料 3億1,370万円
- ・特設サイト関連業務委託料 462万円
- ・カタログ作成等業務委託料 19万円
- ・その他諸経費 833万円



【担当】

政策推進課ふるさと納税推進グループ ☎ 0152-77-6561

✉ furusatog@town.bihoro.hokkaido.jp

新規

災害発生に備えるため非常用電源の

確保に要する災害備蓄品の整備をします

災害発生時に直ちに活用できる備品の計画的整備が必要不可欠であり、停電が発生した際には非常用発電機を避難所で活用しますが、停電が長期化する事態も想定されることから安定した電源の確保を進めるため、電気自動車を活用した非常用電源の確保のための災害備蓄品等の整備を行い、防災体制を強化します。

【予算】 53万円

- ・パワームーバー購入経費 53万円



【担当】

危機対策課危機対策グループ ☎ 0152-77-6528

✉ ktaisakug@town.bihoro.hokkaido.jp



基本目標2 自然の美しさや暮らしの安心を、 みんなで護りあうまちづくり

拡充

開業医の誘致等助成を拡充し

持続的な医療体制の構築を図ります

これまで開業医の誘致等助成は新たに開業する場合のみの助成でしたが、地域医療体制の維持・安定化を図るため、事業継承の場合でも助成できるよう拡充します。円滑な事業継承を支援することにより、地域において長年にわたり医療を提供してきた診療所の廃業を防ぎ、将来にわたり安心して暮らせる地域社会を維持していきます。

【予算】 6,000万円

・開業医誘致等助成金 6,000万円

【担当】

保健福祉課健康推進グループ ☎ 0152-77-6544

✉ kenkou@town.bihoro.hokkaido.jp



新規

省エネ行動ポイント付与アプリを導入し

エコ意識、省エネルギー意識の醸成を図ります

家庭から排出される二酸化炭素は決して小さいものではなく、町民一人ひとりの節電やエコ意識の向上により美幌町全体で大きな削減効果をもたらすものであり、脱炭素化社会への重要な取り組みであることから省エネ行動ポイント付与アプリを導入します。家庭での省エネ行動を可視化し、取り組みに応じて地域ポイントを付与することで、ゼロカーボンに向けた行動を身近に感じながら省エネ行動の定着を促進します。

【予算】 673万円

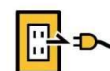
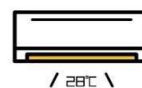
・省エネ行動ポイント

付与アプリ構築業務委託料 673万円

【担当】

環境管理課環境衛生グループ ☎ 0152-77-6550

✉ eiseig@town.bihoro.hokkaido.jp





基本目標2 自然の美しさや暮らしの安心を、 みんなで護りあうまちづくり

新規

容器包装プラスチックと製品プラスチックの リサイクルを推進します

これまで、お菓子の袋やペットボトルのラベル、キャップなどの商品を入れたり包んだりするために用いられるプラスチック製の容器や包装をその他プラとして回収してきましたが、プラスチックをリサイクルするための減容機を更新し、令和9年4月より製品そのものに100%プラスチックが使われているコップや保存容器などの製品プラスチックを新たに回収し、更なるリサイクルの推進を図り、ごみの減量化に向け引き続き取り組んでいきます。

【予算】 7,700万円

・プラスチック減容機更新経費 7,700万円

【担当】

環境管理課環境衛生グループ ☎ 0152-77-6550

✉ eiseig@town.bihoro.hokkaido.jp



継続

第IV期埋立処分場の整備に向け、 造成工事が進められています

現在の第III期埋立処分場は令和9年7月までの埋立期間を予定しており、令和6年度から第IV期埋立処分場の造成工事と処分場内で発生する汚水を処理する施設の建設工事を開始し、令和9年2月に供用開始を目指しています。ごみはきちんと分別することで「ただのごみ」ではなく、大切な資源に生まれ変わります。少し手間をかけることが環境を守り、そして埋め立て処分場の延命化につながることからごみの減量化に向け引き続き取り組んでいきます。

【予算】 9億5,930万円

・第IV期埋立処分場整備経費 9億5,930万円

【担当】

環境管理課環境衛生グループ ☎ 0152-77-6550

✉ eiseig@town.bihoro.hokkaido.jp



活

基本目標3 まちの資源や持ち味を、 活かに換えていくまちづくり

拡充

ICTを活用したヒグマ捕獲用箱わなによる 有害鳥獣対策を推進します

近年、北海道内ではヒグマの出没件数が増加し、住宅街や学校周辺などでの目撃情報も報告されており、美幌町郊外においても目撃情報やフン、足跡の通報があります。ICTを活用したヒグマ捕獲用箱わな監視カメラと監視用タブレットを整備し、必要に応じて箱わなを設置することで監視体制の強化を図り、町民の安全確保と農業被害の防止を進めていきます。

【予算】 357万円
・ヒグマ駆除経費 357万円



【担当】

農林政策課森林農地整備グループ ☎ 0152-77-6547

✉ krinmug@town.bihoro.hokkaido.jp

継続

みどりの村、グリーンビレッジの老朽化が 進んでいることから再整備を進めています

令和6年度よりみどりの村の老朽化に伴い、再整備に着手し、令和9年度リニューアルオープンを目指し整備を進めています。令和7年度にはグランピングエリアが完成し、令和8年度には森林公園や、グリーンビレッジの改修を実施します。みどりの村エリアの価値向上に取り組むことで、更なる観光誘客と交流人口、関係人口の増加を図り、地域経済の好循環や活性化へ繋げていきます。

【予算】 8億3,620万円（繰越予算）
・みどりの村等再整備経費 8億3,620万円
※本事業は令和7年度予算を繰り越ししているため、当初予算額には含まれておりません。



【担当】

商工観光課商工観光グループ ☎ 0152-77-6548

✉ skankoug@town.bihoro.hokkaido.jp

活

基本目標3 まちの資源や持ち味を、 活かに換えていくまちづくり

新規

峠の湯びほろの開館30周年記念事業を 開催し更なる集客に繋がります

交流促進センター「峠の湯びほろ」は町の憩いの場として、町内外から年間10万人を超える方にご利用いただいています。令和8年に開館30周年を迎えるため、イベント等の記念事業を開催し、日頃からご利用いただいている多くの皆さまに感謝の気持ちを伝え、更なる集客に繋がります。また、訪れる皆さまにより一層親しまれる施設となるよう取り組みを進めていきます。

【予算】 120万円

・開館30周年記念事業経費 120万円



【担当】

商工観光課商工観光グループ ☎ 0152-77-6548

✉ skankoug@town.bihoro.hokkaido.jp

新規

地域ポイントを付与する地域アプリを構築し 地域経済の活性化を図ります

現在、町内で使用しているスマッピーカードポイントシステムに代わる新たな仕組みとして、ポータル型の地域アプリを導入します。本アプリには、地域通貨機能や省エネ行動に応じたポイント付与機能を搭載し、利用者の利便性向上を図るとともに町内事業者への消費拡大を促進し、商業振興と地域経済の循環、活性化に繋がります。また、従来のプレミアム商品券発行事業に代えて地域アプリを導入した方にポイントを付与することでアプリの普及促進を図ります。

【予算】 2,231万円

・地域アプリ開発委託料 1,631万円
・地域アプリポイント発行事業補助金 600万円



【担当】

商工観光課商工観光グループ ☎ 0152-77-6548

✉ skankoug@town.bihoro.hokkaido.jp

集

基本目標4 住みやすく、 人が集まる基盤をつくるまちづくり

継続

大正橋の架け替えを実現できるよう 架け替えルートの詳細を決定します

大正橋は隣町の北見市へ通勤や通学、買い物など日常的に利用される車両や地域間の物流を担うトラックなども通行するため、非常に交通量が多い橋であり、幅員が狭いことから、冬道の安全対策上から架け替えの要望を北海道へ行ってきたところですが、町道第770号道路（旭通）の道道昇格による大正橋の架け替えを想定した街路整備を目指すため、架け替えルートの詳細を決定するための予備設計を実施し、道道昇格による整備を実現します。

【予算】 1,400万円

・町道第770号道路予備設計委託料 1,400万円



【担当】

建設課都市整備グループ ☎ 0152-77-6551

✉ tosiseibig@town.bihoro.hokkaido.jp

継続

公営住宅の計画的な管理や建替で、 安定した住環境の確保や利便性の向上を図る

昨年度着手した、旭団地7号棟の建設工事を継続して実施し、令和8年度に完成します。また、美英団地の解体や仲町団地の解体除却設計を実施するほか、平成18年度に建設された旭団地3号棟の外壁等の改修工事も行います。今後も計画的に公営住宅の管理や建て替えを実施し、安心に暮らせる住環境の確保に努めていきます。

【予算】 14億3,345万円

- ・旭団地7号棟建設工事経費 12億7,217万円
- ・美英団地解体除却工事経費 3,857万円
- ・仲町団地解体除却工事設計業務委託料 6,331万円
- ・旭団地外壁等改修工事 5,940万円



【担当】

建設課公営住宅グループ ☎ 0152-77-6552

✉ koujug@town.bihoro.hokkaido.jp

育

基本目標5 夢を育む体験！

あたたかい人をつくるまちづくり

新規

魅力ある高校づくりの一環として

美幌高等学校へ学校給食を提供します

これまで、美幌高等学校の生徒募集、入学者確保に向けた支援策に取り組んでいましたが、少子化を背景に入学者は減少傾向にあり、高校への進学を検討する際、一人でも多くの中学生に美幌高等学校を選択いただけるよう、魅力ある高校づくりの一環として生徒、保護者からの希望の多い学校給食の提供を開始します。必要な備品等の整備や数回の試食会を実施の上、2学期からの開始を目指して準備を進めます。

【予算】 460万円

・美幌高等学校給食提供経費 460万円



【担当】

学校給食課学校給食グループ

☎ 0152-73-2526

(美幌高等学校の給食に関すること)

✉ kyusyokug@town.bihoro.hokkaido.jp

学校教育課総務グループ

☎ 0152-77-6556

(美幌高等学校への支援全般に関すること) ✉ ksoumug@town.bihoro.hokkaido.jp

拡充

生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を

継続

図るため学校部活動の地域展開を進めていきます

少子化に伴う生徒数の減少が進む中でも将来にわたって子どもたちが継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実等を図るため、部活動の地域展開を進めています。令和8年度から美幌中学校弓道部は新たに町内の弓道団体が受け皿となり、地域クラブ活動へ展開します。引き続き地域と連携を図りながら、学校部活動の地域クラブ活動への円滑な展開に向けて着実に取り組みを進めていきます。

【予算】 213万円

・部活動地域展開関連経費 213万円



【担当】

学校教育課学校教育グループ ☎ 0152-77-6557

✉ kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp

Q 予算は何のために必要なの？

A 行政サービスを計画的に行うためには、**予算が必要**です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うためには、予算を作成することが必要になります。また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になります。

Q 何を目標として予算を作るの？

A 第6期美幌町総合計画で掲げている5つの**基本目標**に沿って予算を作成しています。

第6期美幌町総合計画は、平成28年度から令和8年度までの11年間を計画期間とした美幌町の最上位計画です。この計画で、まちの将来像を定めており、その実現に向けて取り組んでいくために掲げている5つの基本目標（P4参照）に沿って予算を作成しています。

Q 貯金と借金はどれくらいあるの？

A 一般会計の貯金（基金）の令和8年度末**予定残高は約51億円**です。
また、借金（町債）は約**115億円**です。

美幌町の貯金（基金）は、一般会計の12基金と国民健康保険基金、介護保険基金を合わせた計14基金あり、それぞれの目的に沿って管理運営を行っています。内訳としては、一般会計の主要3基金（財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金）の年度末予定残高が約40億円であり、その他9基金が約11億円となっています。

また、公共施設（道路等）の整備などに必要な多額のお金を、借金（町債）により賅っているものもあります。これは、1年間の負担を小さくするだけでなく、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の方々に公平に負担していただくことにもつながります。

令和5年3月に策定した第3次美幌町財政運営計画に基づき、基金の適切な管理運営や町債の発行抑制に努めていきます。



ことしの仕事

～令和8年度 美幌町予算説明書～

(発行年月日) 令和8年4月
(発行) 美幌町
(お問い合わせ先) 美幌町役場 総務部財務課財務グループ
〒092-8650
網走郡美幌町字東2条北2丁目25番地
電話 0152-77-6530 (直通)
FAX 0152-72-4869
メール zaimug@town.bihoro.hokkaido.jp